

## 7. まとめおよび補足

本編では、薄板で構成された部材に関して提起された問題あるいは検討事項について、数例と数は少ないが、最新の研究成果を収録したつもりである。

しかし、ここで解説した研究成果の他にも、研究は着々と進んでいる。例えば、参考文献 1)以降に参考文献 2)で紹介されている成果として、2 方向圧縮力を受ける補剛平板の極限強度に関する研究<sup>3),4)</sup>などがある。その後、この問題に関する実験的研究<sup>5)</sup> および相関曲線に関する解析的研究<sup>6)-9)</sup> 等があることを付記しておく。

### 参考文献

- 1) 土木学会編：「座屈設計ガイドライン」，鋼構造シリーズ 2, 1987.
- 2) 土木学会編：「鋼構造物の終局強度と設計」，鋼構造シリーズ 6, 1994.
- 3) T. KITADA, H. NAKAI, T. FURUTA: Ultimate strength and interaction curve of stiffened plates subjected to biaxial in-plane forces, *Structural Eng./Earthquake Eng., JSCE*, Vol.8, No.3, pp.113s-122s, Oct., 1991.
- 4) 北田俊行・中井 博・宮坂佳洋・古田富保：2 方向面内力を受ける補剛板の極限強度に関する実験的研究，土木学会論文集，No.437/I-17, pp.79-88, 1991.10.
- 5) 熊谷洋司・井浦雅司・吉田俊二：二軸応力を受ける一方向に補剛された圧縮補剛板の設計法に関する研究，構造工学論文集，Vol.39A, pp.143-152, 1993.3.
- 6) 勇 秀憲：2 方向面内力を受ける鋼矩形板の耐荷力推定のための新しいアプローチ，構造工学論文集，Vol.37A, pp.219-228, 1991.3.
- 7) 勇 秀憲：2 軸圧縮補剛板の終局強度の簡易評価法，構造工学論文集，Vol.38A, pp.231-242, 1992.3.
- 8) H. ISAMI: A prediction method of ultimate strength for stiffened plates under biaxial in-plane forces, *Structural Eng./Earthquake Eng., JSCE*, Vol.11, No.1, pp.23s-31s, April, 1994.
- 9) 勇 秀憲：2 方向面内力を受ける補剛板の終局強度の相関曲線，構造工学論文集，Vol.41A, pp.329-335, 1995.3.